

東北厚生局長 殿

開設者名 公立大学法人福島県立医科大学
理事長 菊地 臣一

福島県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	90.9 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	314人	148人	398.4人	看護補助者	55人	診療エックス線技師	人
歯科医師	3人	6人	7.6人	理学療法士	9人	臨床検査技師	63人
薬剤師	30人	人	30.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	4人	その他	人
助産師	31人	人	31.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	641人	22人	654.5人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	13人
准看護師	1人	3人	3.0人	栄養士	2人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	1人	1人	2.0人	歯科技工士	人	事務職員	103人
管理栄養士	7人	1人	8.0人	診療放射線技師	39人	その他の職員	93人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	573.1人	4.4人	577.6人
1日当たり平均外来患者数	1,438.7人	29.6人	1,468.3人
1日当たり平均調剤数	850.2剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	2人
超音波骨折治療法	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	3人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	29人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。
(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
化学療法に伴うカフェイン併用療法	5人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	0人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植	0人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	149人	・膿疱性乾癬	6人
・多発性硬化症	71人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	124人	・原発性胆汁性肝硬変	167人
・全身性エリテマトーデス	452人	・重症急性膵炎	24人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	8人
・再生不良性貧血	114人	・混合性結合組織病	70人
・サルコイドーシス	193人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	28人	・特発性間質性肺炎	76人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	256人	・網膜色素変性症	32人
・特発性血小板減少性紫斑病	174人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	11人	・肺動脈性肺高血圧症	25人
・潰瘍性大腸炎	209人	・神経線維腫症	44人
・大動脈炎症候群	39人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・ビュルガー病	6人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	66人	・慢性血栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	42人	・ライゾーム病	0人
・クローン病	69人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	19人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	27人
・悪性関節リウマチ	25人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	287人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	53人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	12人
・後縦靭帯骨化症	17人	・肥大型心筋症	85人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	11人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	5人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	63人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	14人	・黄色靭帯骨化症	101人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	11人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	386人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・超音波骨折治療法(四肢骨折のうち、開放骨折及び粉碎骨折)	・
・画像等手術支援加算(実物大臓器立体モデルによるもの)	・
・悪性腫瘍組織検査(抗悪性腫瘍剤感受性検査HDRA法又はCD-DST法)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月6回実施
部 検 の 状 況	部検症例数 41 例 / 部検率 12.16%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
抗老化蛋白SMP30を用いた心不全の新規治療戦略	竹石恭知	循環器内科・血液内科	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
心アミロイドーシスに対するICD併用自己末梢血管細胞移植の有用性の検討	小川一英	循環器内科・血液内科	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
新たな手法によるPNHクローンの拡大抑制に関する基礎的検討	七島 勉	循環器内科・血液内科	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
PNHにおけるペプチドワクチンによる免疫療法の可能性	野地秀義	循環器内科・血液内科	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
血管炎症における新規分子MT1-MMPの関与	杉木浩一	循環器内科・血液内科	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
慢性心不全における睡眠時無呼吸症候群に対する順応性自動制御換気療法の効果の検討	義久精臣	循環器内科・血液内科	300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
慢性心不全に対する新たな治療戦略ーPDE3A過剰発現マウスによる検討ー	及川雅啓	循環器内科・血液内科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
心筋細胞傷害に対する新治療戦略:HMGB1マウスを用いた検討	鈴木 聡	循環器内科・血液内科	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
慢性心不全患者における心臓リハビリテーションの効果	佐藤崇匡	循環器内科・血液内科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
特発性心筋症に関する調査研究	竹石恭知	循環器内科・血液内科	300,000	補委 厚生労働省
心電図健診による長期にわたる疫学調査:Brugada(ブルガダ)症候群の長期予後調査	竹石恭知	循環器内科・血液内科	300,000	補委 厚生労働省
Senescence marker protein 30による心臓リモデリングの抑制	竹石恭知	循環器内科・血液内科	300,000	補委 公益財団法人万有生命科学振興国際交流財団
急性骨髄性白血病における新しい予後予測遺伝子マーカーの探索	小川一英	循環器内科・血液内科	1,700,000	補委 独立行政法人 科学技術振興機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
造血器腫瘍の異常クローン増殖から白血化に至る多段階機構におけるHMGA2の役割	池田和彦	循環器内科・血液内科	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成23年度研究支援事業
白血病細胞のGPIアンカー膜蛋白の発現によるAMLの新たな層別化の試み	木村 哲	循環器内科・血液内科	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成23年度研究支援事業
心腎連関に対する低濃度一酸化炭素療法を用いた新たな治療戦略の開発	小林 淳	循環器内科・血液内科	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成23年度研究支援事業
LOX-1/レニンアンジオテンシン系の動脈硬化への関与及び喫煙との因果関係の解明	坂本信雄	循環器内科・血液内科	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成23年度研究支援事業
新しい炎症反応性物質Pentraxin 3を標的とした心不全の新たな治療戦略	水上浩行	循環器内科・血液内科	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成23年度研究支援事業
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	大平弘正	消化器内科・リウマチ膠原病内科	400,000	補委 厚生労働省
免疫抑制薬、抗悪性腫瘍薬によるB型肝炎ウイルス再活性の実態解明と対策法の確立	小林浩子	消化器内科・リウマチ膠原病内科	300,000	補委 厚生労働省
プロテオミクスを用いた自己免疫性肝炎における自己抗体の網羅解析	大平弘正	消化器内科・リウマチ膠原病内科	400,000	補委 文部科学省
TLR9によるB細胞の機能調節と炎症性腸疾患治療への応用	片倉響子	消化器内科・リウマチ膠原病内科	1,000,000	補委 文部科学省
膵臓癌に対する超音波内視鏡を用いた微量放射線源局注療法と化学療法併用の試み	高木忠之	消化器内科・リウマチ膠原病内科	1,000,000	補委 文部科学省
NPSLE及び自己免疫疾患の中樞神経病変における抗TPI抗体の研究と臨床応用	佐藤秀三	消化器内科・リウマチ膠原病内科	295,285	補委 文部科学省
NAFLDに対するレジスタンス運動の肝機能改善効果とそのメカニズムの解明	高橋敦史	消化器内科・リウマチ膠原病内科	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成23年度研究支援事業
原発性胆汁肝硬変における爪郭毛細血管異常と抗セントロメア抗体との関連	物江恭子	消化器内科・リウマチ膠原病内科	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成23年度研究支援事業
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とランダム化比較試験	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	1,380,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病(CKD)の位置付けに関する検討	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	18,700,000	補委 厚生労働省
医療連携モデルを基盤とした総合診療系医と領域別専門医制度の検討	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	8,140,000	補委 厚生労働省
進行性腎障害に関する調査研究	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	3,000,000	補委 厚生労働省
戦略研究(腎疾患重症化予防のための戦略研究)	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	1,000,000	補委 厚生労働省
CKD進展予防のための特定健診と特定保健指導のあり方に関する研究	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	1,000,000	補委 厚生労働省
生活習慣を基礎とする慢性腎臓病抑制対策に関する基礎的検討	中山昌明	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	500,000	補委 文部科学省
糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	佐藤博亮	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	500,000	補委 厚生労働省
閉経後のメタボリック症候群病態形成におけるアディポネクチンとレジスチンの役割	佐藤博亮	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	900,000	補委 文部科学省
カリウム過剰摂取によるインスリン抵抗性改善作用とその作用機序の解明についての研究	佐藤博亮	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	1,400,000	補委 公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
慢性腎臓病(CKD)に関する普及啓発のあり方に関する研究	旭 浩一	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	150,000	補委 厚生労働省
褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に兼する研究	橋本重厚	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	100,000	補委 厚生労働省
難治性神経因性疼痛に対する大脳一次運動野刺激の多施設共同研究:継続的反復的頭蓋磁気刺激による効果判定とメカニズム	宇川義一	神経内科	1,200,000	補委 厚生労働省
脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立に関する研究	宇川義一	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働省
スモンに関する調査研究	杉浦嘉泰	神経内科	600,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ジストニアの診断及び治療方法の更なる推進に関する研究	宇川義一	神経内科	500,000	補 委 厚生労働省
運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究	宇川義一	神経内科	1,800,000	補 委 厚生労働省
ヒトでの新しいシナプス可塑性誘導法(OPS)の開発	宇川義一	神経内科	3,500,000	補 委 文部科学省
アレルギー疾患の予後改善を目指した自己管理および生活環境改善に資する治療戦略の確立に関する研究	棟方充	呼吸器内科	800,000	補 委 厚生労働省
G蛋白質共役受容体アレイを用いた新規肺癌標的分子の探索	横内浩	呼吸器内科	2,100,000	補 委 文部科学省
軽微な線維化肺を用いた網羅的遺伝子発現解析による特異性	棟方充	呼吸器内科	1,000,000	補 委 文部科学省
細胞死回避による免疫寛容誘導の機構解明とその展開	後藤満一	臓器再生外科	4,900,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
細胞組織工学を用いた膵島細胞シートの多次元化によるインスリン分泌機能の構築	伊勢一哉	臓器再生外科	1,300,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
細胞死に伴うHMGB-1を標的とした移植片長期生着効果の誘導	斎藤隆晴	臓器再生外科	1,000,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
若年発症 I 型糖尿病に対する再生膵島移植—膵島細胞シートの同種移植	山下方俊	臓器再生外科	700,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
若年発症 I 型糖尿病に対する再生膵島移植—膵島細胞シートの異種移植	石井証	臓器再生外科	700,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
細胞分離用酵素剤の最適化とイオンチャネル制御の膵島移植への応用	穴澤貴行	臓器再生外科	1,600,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
食道癌センチネルリンパ節における樹状細胞活性化動態と Th17/Treg バランス	檜村省吾	臓器再生外科	1,700,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進	後藤満一	臓器再生外科	15,123,000	補 委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
全ての臓器と組織移植症例の一元的な登録と追跡制度の確立ならびにドナーとレシピエントの安全性確保とQOL向上に関する研究	後藤満一	臓器再生外科	200,000	補 委 厚生労働省
進行・再発膵癌に対する新規エピトープペプチドカクテル療法と標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験	後藤満一	臓器再生外科	1,200,000	補 委 厚生労働省
標準療養不応の肺がんの有効な新規がんペプチドワクチン療法の開発と創薬展開	鈴木弘行	臓器再生外科	3,000,000	補 委 厚生労働省
1型糖尿病に対するβ細胞置換療法へのイオンチャネル制御の導入	穴澤貴行	臓器再生外科	1,000,000	補 委 公益財団法人テルモ科学技術振興財団
ICBP90/UHRF1およびNIRF/UHRF2を標的とした肺癌治療法の開発	樋口光徳	臓器再生外科	500,000	補 委 公立大学法人福島県立医科大学 平成23年度研究支援事業
大腸癌におけるING2遺伝子発現の臨床的意義の検討	竹之下誠一	器官制御外科	40,000	補 委 文部科学省
神経皮膚症候群に関する調査研究	齋藤 清	脳神経外科	1,000,000	補 委 厚生労働省
慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究	紺野慎一	整形外科	10,000,000	補 委 厚生労働省
腰痛の診断、治療法に関する研究:痛み・しびれの可視化技術の確立並びにMRIを用いた脊髄投射路及び末梢神経イメージング法の確立	紺野慎一	整形外科	2,000,000	補 委 厚生労働省
腰痛の診断、治療に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」	紺野慎一	整形外科	800,000	補 委 厚生労働省
顕微授精後受精障害症例に対する治療的な人為的卵活性化法の有効性に関する検討	菅沼亮太	産科婦人科	1,170,000	補 委 文部科学省
インフルエンザ脳症の組織培養モデルを用いた薬剤による病態の増悪及び改善の検討	細矢 光亮	小児科	1,000,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
腎糸球体の障害再生過程におけるM1・M2マクロファージの役割と再生促進因子の解明	川崎 幸彦	小児科	1,200,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
マウスモデルを用いた臨床分離株解析によるRSV病原性発現の新たな機序による解明	橋本 浩一	小児科	500,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト上気道細胞モデルを用いた新規インフルエンザウイルス複製機序の解明とその抑制	佐藤 晶論	小児科	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
慢性肺疾患発症予防への吸入ステロイド療法による炎症性細胞とサイトカインとの関連	今村 孝	小児科	1,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
臍帯血中ヒトグルココルチコイドレセプターの発現とステロイド抵抗性に関する検討	小笠原 啓	小児科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	細矢 光亮	小児科	2,100,000	補委 厚生労働省
ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除、およびワクチンで予防可能疾患の疫学並びにワクチンの有用性に関する基礎的臨床的研究	細矢 光亮	小児科	5,000,000	補委 厚生労働省
未熟児網膜症の新規手術法開発後の治療プロトコールの標準化	飯田 知弘	眼科	1,000,000	補委 厚生労働省
視細胞・網膜色素上皮細胞機能の定量解析による加齢黄斑変性発症機序の解明	飯田 知弘	眼科	100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
視細胞外節障害時の視細胞応答機構の解明	石龍 鉄樹	眼科	100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
532nmの励起光を用いた眼底自発蛍光の定量的解明	小島 彰	眼科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
過活動膀胱の発生と前立腺におけるニューロモデュレーションシステムの解析	相川 健	泌尿器科・副腎内分泌外科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
$\beta 2$ 受容体遺伝子多型が女性骨盤底機能障害患者の骨盤底筋収縮に及ぼす影響	宍戸 啓一	泌尿器科・副腎内分泌外科	600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
腎癌におけるRNA干渉による免疫回避機構の解明と治療への応用に関する研究	石橋 啓	泌尿器科・副腎内分泌外科	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
アンギオテンシンII受容体拮抗薬	矢崎順二	泌尿器科・副腎内分泌外科	500,000	補委 公立大学法人福島 県立医科大学 平成23年度研究支援事業
iPS細胞を用いた頭頸部臓器再生技術の研究開発	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
サイトメガロウイルスによる聴覚障害メカニズムの解明	小川 洋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
遺伝子学的手法を用いたセンチネルリンパ節転移の術中迅速診断法の開発	松塚 崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
組織工学的手法を用いた気管再生における上皮形成メカニズムの解明	多田 靖宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
気道領域におけるヒト脂肪由来幹細胞と多血小板血漿を用いた臓器再生に関する研究	横山 秀二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補委 文部科学省
サイトメガロウイルス感染による聴覚障害における聴覚・言語発達に関する研究	松井 隆道	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000	補委 文部科学省
ヒト脂肪由来幹細胞の培養法の確立および組織再生技術の研究開発	鈴木 政博	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,200,000	補委 文部科学省
自家軟骨細胞を用いた喉頭の軟骨欠損部の再生	野本 美香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
再生医療におけるハイブリッド3次元培養法の開発	鈴木 輝久	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脳内アナンドアミドは全身麻酔作用に影響する	村川雅洋	麻酔科	500,000	補委 公立大学法人福島 県立医科大学 平成 23年度研究支援事 業
局所麻酔薬中毒の中樞神経症状に対する脂肪乳剤の効果	中川 雅之	麻酔科	500,000	補委 公立大学法人福島 県立医科大学平成 23年度研究支援事 業
Hsp70誘導による周術期臓器保護の可能性	中野 裕子	集中治療部	650,000	補委 文部科学省
薬物負荷3次元心エコーを用いた虚血性心疾患に対する診断法の確立	高野真澄	集中治療部	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
外来診察を行う中で、日本家庭医の内的思考はどのようなものか？ ～構造構成的質的研究法を用いた視点提示型(事例)研究～	望月 亮	地域・家庭医療部	227,779	補委 公益財団法人 仁泉会
マーシャル諸島と台湾では大災害後にプライマリ・ケアがどのように求められ形成されてきたか(どの地域の復興に貢献したか)を検証する地域包括ケア研究	葛西 龍樹	地域・家庭医療部	1,800,000	補委 公益財団法人 二 十一世紀文化学術 財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
門脈血行異常症に関する調査研究	小原勝敏	内視鏡診療部	600,000	補 委 厚生労働省
がん患者・家族の精神心理的ケアを重視したがん哲学外来の取組み	石田 卓	臨床腫瘍センター	1,000,000	補 委 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団
東北地方のがんネットワークによるがん診療連携拠点病院の化学療法の均てん化事業	石田 卓	臨床腫瘍センター	400,000	補 委 厚生労働省
わが国におけるがん登録の整備に関する研究	石田 卓	臨床腫瘍センター	300,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
胸部レントゲン写真読影精度向上の検討	石田 卓	臨床腫瘍センター	100,000	補 委 公益財団法人福島県保健衛生協会
厚生労働省科学研究費時補助金難治性疾患克服研究事業 褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究	橋本重厚	医療安全管理部／腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科	100,000	補 委 厚生労働省
新規免疫抑制療法を併用する臨床膵島移植の開発	後藤満一	臓器再生外科	83,768,519	補 委 文部科学省
iPS細胞を用いた喉頭・気管上皮の再生技術に関する研究	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,000,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
コラーゲンビトリゲルを用いた人工気管に関する研究開発	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	5,000,000	補 委 農林水産省

計9

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計 106

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Blood 117 (22), 5860-5869, 2011	3'UTR-truncated Hmga2 cDNA causes MPN-like hematopoiesis by conferring a clonal growth advantage at the level of HSC in mice	池田和彦	循環器内科・血液内科
European Journal of Clinical Investigation 41 (7), 759-766, 2011	8-Hydroxy-2'-deoxyguanosine is a prognostic mediator for cardiac event	鈴木 聡	循環器内科・血液内科
International Heart Journal 52 (4), 218-223, 2011	Adaptive servo ventilation improves cardiac dysfunction and prognosis in chronic heart failure patients with Cheyne-Stokes respiration	義久精臣	循環器内科・血液内科
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 18 (9), 762-773, 2011	Crucial role of membrane type 1 matrix metalloproteinase (MT1-MMP) in RhoA/Rac1-dependent signaling pathways in thrombin-stimulated endothelial cells	安藤勝也	循環器内科・血液内科
Current Vascular Pharmacology 9 (1), 99-108, 2011	Ezetimibe and vascular inflammation	石橋敏幸	循環器内科・血液内科
Journal of Cellular Physiology 226 (6), 1554-1563, 2011	Involvement of membrane type 1-matrix metalloproteinase (MT1-MMP) in RAGE activation signaling pathways	上岡正志	循環器内科・血液内科
Journal of Cardiology 58 (1), 32-37, 2011	Long-term clinical outcomes after deferral of percutaneous coronary intervention of intermediate coronary stenoses based on coronary pressure-derived fractional flow reserve	三阪智史	循環器内科・血液内科
Current Vascular Pharmacology 9 (2), 136-144, 2011	Pleiotropic effects of ARB in diabetes mellitus	斎藤修一	循環器内科・血液内科
Cardiovascular Intervention and Therapeutics 26 (3), 263-268, 2011	Very late stent thrombosis and neointimal plaque rupture after implantation of sirolimus-eluting stents: observations with angiography, IVUS and OCT	坂本信雄	循環器内科・血液内科
エレクトロニクスの臨床 78, 37-49, 2011	Adaptive servo ventilationが有効であった拡張相肥大型心筋症と心臓再同期療法施行中の拡張型心筋症	義久精臣	循環器内科・血液内科
心臓 43 (4), 491-498, 2011	インプロテレノール投与で顕在化した遅伝導路を介する通常型および非通常型房室結節リエントリー性頻拍の1例	上北洋徳	循環器内科・血液内科
日本内科学会雑誌 100 (7), 1975-1977, 2011	劇症型心筋炎に対して集学的治療により救命しえた1例	山田慎哉	循環器内科・血液内科
日本心臓病学会誌 6 (3), 246-247, 2011	今月の画像:致死性心室性不整脈を発症し蘇生された若年女性の1症例	上岡正志	循環器内科・血液内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
福島県医師会報 73 (12), 980-987, 2011	福島県急性心筋梗塞発症登録調査2010年集計	八巻尚洋	循環器内科・血液内科
日本内科学会雑誌 101 (2), 465-467, 2012	妊娠中期に心不全増悪を来し、帝王切開にて出産したFontan術後の1例	小林 淳	循環器内科・血液内科
Fukushima J Med Sci. 2011;57(1):28-32.	Prospective randomized comparative study of hemodynamic changes between ultrathin transnasal and conventional transoral esophagogastroduodenoscopy in percutaneous	鈴木 玲	消化器内科・リウマチ膠原病内科
Hepatology Res.2011;41(7):641-6.	Risk factors associated with relapse of type 1 autoimmune hepatitis in Japan.	横川順子	消化器内科・リウマチ膠原病内科
Hepatology Res. 2011; 41:877-886.	Primary biliary cirrhosis - Autoimmune hepatitis overlap syndrome: A rationale for corticosteroids use based on a nation-wide retrospective study in Japan.	大平弘正	消化器内科・リウマチ膠原病内科
International Journal of Clinical Oncology. 2011;16(4):387-394	ATP assay-guided chemosensitivity testing for gemcitabine with biopsy specimens obtained from unresectable pancreatic cancer using endoscopic ultrasonography-guided fine-needle aspiration.	若槻 尊	消化器内科・リウマチ膠原病内科
Tissue Antigens. 2011;78(1):65-68.	Replicated association of 17q12-21 with susceptibility of primary biliary cirrhosis in a Japanese cohort.	大平弘正	消化器内科・リウマチ膠原病内科
Clin J Gastroenterol. 2012;5(1):9-14.	Involvement of the liver in rheumatic diseases.	大平弘正	消化器内科・リウマチ膠原病内科
Hepatology Res. 2012 ;42(2):131-8.	Current trends in the diagnosis and treatment of autoimmune hepatitis in Japan.	大平弘正	消化器内科・リウマチ膠原病内科
日本門脈圧亢進症学会 雑誌. 2011;17(1):1-5.	原発性胆汁性肝硬変症における食道・胃静脈瘤の検討.	高橋敦史	消化器内科・リウマチ膠原病内科
Biochemical and Biophysical Research Communications , 407(2), 426-431	Characteristic effects of methylglyoxal and its degraded product formate on viability of human histiocytes: a possible detoxification pathway of methylglyoxal	中山昌明	腎臓高血圧内科・ 糖尿病内分泌代謝 内科
Clinical and Experimental Nephrology, 15(2), 248- 257	Management of anemia in chronic kidney disease patients: baseline findings from Chronic Kidney Disease Japan Cohort Study	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・ 糖尿病内分泌代謝 内科
Clinical and Experimental Nephrology, 15(6), 841- 847	Significance of past history of renal failure for the detection of high-risk individuals for cardiovascular and end-stage renal disease: analysis of data from a nationwide health checkup.	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・ 糖尿病内分泌代謝 内科
Clinical and Experimental Nephrology, 15(6), 868- 876	Performance of serum cystatin C versus serum creatinine as a marker of glomerular filtration rate as measured by inulin renal clearance	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・ 糖尿病内分泌代謝 内科
Endocrinology, 152(4), 1582-1588	Angiotensin III Stimulates Aldosterone Secretion from Adrenal Gland Partially via Angiotensin II Type 2 Receptor But Not Angiotensin II Type 1 Receptor	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・ 糖尿病内分泌代謝 内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Experimental Biology and Medicine, 236(5), 614-620	Adiponectin reduces proteinuria in streptozotocin-induced diabetic Wistar rats	中牧慎太郎	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Hypertension Research, 34(10), 1106-1110	Increased risk of cardiovascular events and mortality among non-diabetic chronic kidney disease patients with hypertensive nephropathy: the Gonryo study	中山昌明	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Internal Medicine, 50(11), 1149-1156	Achievement Status toward Goal Blood Pressure Levels and Healthy Lifestyles among Japanese Hypertensive Patients; Cross-sectional Survey Results from Fukushima Research of Hypertension (FRHS)	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Journal of Medical Case Reports, 5, 432	Thyroid-stimulating hormone elevation misdiagnosed as subclinical hypothyroidism following non-convulsive status epilepticus: a case report	緑川早苗	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Life Sciences, 88(23-24), 1055-1062	Pioglitazone upregulates adiponectin receptor 2 in 3T3-L1 adipocytes	工藤明宏	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Nature Genetics, 43(5), 459-463	Common variation in GPC5 is associated with acquired nephrotic syndrome	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Nephrology Dialysis Transplantation, 26(7), 2112-2118	Intake of water with high levels of dissolved hydrogen (H ₂) suppresses ischemia-induced cardio-renal injury in Dahl salt-sensitive rats	中山昌明	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Nephron Experimental Nephrology, 119(2), e33-e39	Dietary Perilla Seed Oil Supplement Increases Plasma Omega-3 Polyunsaturated Fatty Acids and Ameliorates Immunoglobulin A Nephropathy in High Immunoglobulin A Strain of ddY Mice	櫻井 薫	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
The Journal of Nutrition, Health & Aging, 15(4), 282-286	Lower plasma arginine in enteral tube-fed patients with pressure ulcer and improved pressure ulcer healing after arginine supplementation by arginaid water	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Therapeutic Apheresis and Dialysis, 15(2), 156-160	Decrease in reduced-form albumin among chronic kidney disease patients: new insights in cardiovascular complications	中山昌明	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Neuroscience Letters	Quadri-pulse stimulation(QPS)induced LTP/LTD was not affected by Val66Met Polymorphism in the brain-derived neurotrophic factor(BDNF)gene	中村耕一郎	神経内科
Neuropsychologia	Initiation and inhibitory control of saccades with the progression of Parkinson's disease-Changes in three major drives converging on the superior colliculus	宇川義一	神経内科
Movement of Disorders	Disappearance of Essential Tremor After Stroke: Which Fiber of Cerebellar Loops is Involved in Posterior Limb of Loops is Involved in Posterior Limb of the Internal Capsule?	望月仁志	神経内科
Experimental Brain Research	On-line effects of quadripulse transcranial magnetic stimulation(QPS)on the contralateral hemisphere studied with somatosensory evoked potential and near infrared spectroscopy	宇川義一	神経内科
Clinical Neurophysiology	Inter-individual variation in the efficient stimulation site for magnetic brainstem stimulation	宇川義一	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain Stimulation	Some evidence supporting the safety of quadripulse stimulation(QPS)	榎本 雪	神経内科
The Cerebellum	Cerebellar stimulation in ataxia	グロイス純	神経内科
総合リハビリテーション	磁気刺激の臨床応用 神経内科領域	望月仁志	神経内科
Clinical Neuroscience	ヒトでの可塑性の誘導 Quadripulse stimulation(QPS)	グロイス純	神経内科
Clinical Neuroscience	進行性核上性麻痺(PSP)における小脳機能異常	宇川義一	神経内科
Annals of Allergy, Asthma and Immunology	Validation study of asthma screening criteria based on subjective symptoms and fractional exhaled nitric oxide.	Aturo Fukuhara	呼吸器内科
Journal of Clinical Oncology	Increase of ascites and pleural effusion misleading assessment of antitumor response to erlotinib in adenocarcinoma of the lung.	Motoko Tachihara	呼吸器内科
分子呼吸器病学	Secretoglobin 3A2はLPSによる気道炎症を抑制する	王新涛	呼吸器内科
Therapeutic Research	Bronchocentric granulomatosis所見を呈したびまん性気管支拡張症の1例	福原奈緒子	呼吸器内科
日本内科学会雑誌	右冠動脈-右房瘻が原因と考えられた敗血症性肺塞栓症の1例	平井健一郎	呼吸器内科
肺癌	局所再発を繰り返し、外科切除にて混合型小細胞癌と診断した1例	立原素子	呼吸器内科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 びまん性肺疾患に関する調査研究班 平成23年度研究報告書	BetaglycanはTGF-βの作用抑制を介し肺線維化を抑制する	谷野功典	呼吸器内科
臨床免疫・アレルギー科	重症喘息の診断・管理におけるバイオマーカー 呼吸一酸化窒素・impulse oscillation system (IOS)を中心に	佐藤俊	呼吸器内科
Neurol Med Chir 51 (10): 684-688, 2011	Combined microsurgical and endoscopic removal of extensive suprasellar and prepontine epidermoid tumors	渡邊 督	脳神経外科
Acta Neurochir 154 (1): 179-185, 2012	Skull base reconstruction using various types of galeal flaps	伊藤英治	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Carcinogenesis 33 (2): 436-441, 2012	Epigenetic subclassification of meningiomas based on genome-wide DNA methylation analysis	岸田悠吾	脳神経外科
頭頸部外科 22 (1): 1-8, 2012	頭頸部腫瘍に対する頭蓋底外科手術	齋藤 清	脳神経外科
脳神経外科 39 (9): 849-857, 2011	鞍上部腫瘍に対する手術アプローチupdate:頭蓋咽頭腫を中心に	渡邊 督	脳神経外科
小児の脳神経 36 (3): 331-336, 2011	福島県における低出生体重児脳室内出血後水頭症と脊髄髄膜瘤に対する脳神経外科の関わり	佐久間潤	脳神経外科
J Orthop Sci 16 :7-13, 2011	A validation study of the Brief Scale for Psychiatric problems in Orthopaedic Patients(BS-POP) for patients with chronic low back pain (verification of reliability, validity, and reproducibility)	吉田勝浩	整形外科
Journal of Spine Research 2(2) :258-260, 2011	Can the Pain due to Spinal Disorders be Measured?: An Analysis using MR Spectroscopy	矢吹省司	整形外科
Journal of Spine Research 2(2) : 272-277, 2011	An Evaluation of Surgical Treatment for Lumbar Spine Disorders using the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire(JOABPEQ) -A Comparison of Lumbar Spinal Stenosis Decompression Surgery Results-	二階堂琢也	整形外科
Annals of Vascular Diseases4(2):79-86, 2011	Correlation between Changes in Leg Blood Flow and Ankle-Brachial Pressure Index: A Study Using Laser Doppler Flowmeter -The 1st Report-	鈴木一良	整形外科
Transplantation. 92(8):871-877,2011	Improved islet yield and function by use of a chloride channel blocker during collagenase digestion.	Anazawa Takayuki	臓器再生外科
Transplantation. 91(5):508-514,2011	Prediction of pancreatic tissue densities by an analytical test gradient system before purification maximizes human islet recovery for islet autotransplantation/allotransplantation.	Anazawa Takayuki	臓器再生外科
Transplantation. 92(11):1231-1236,2011	Reversal of diabetes by the creation of neo-islet tissues into a subcutaneous site using islet cell sheets.	Saito Takahiro	臓器再生外科
Cancer Science. 102(1):226-230,2011	Nationwide survey and establishment of a clinical database for gastrointestinal surgery in Japan: Targeting integration of a cancer registration system and improving the outcome of cancer treatment.	Suzuki Hiroyuki	臓器再生外科
Cancer Research	Identification of genes upregulated in ALK-positive and EGFR/KRAS/ALK-negative lung adenocarcinomas.	岡山洋和	器官制御外科
International Journal of Oncology	Cathepsin L is highly expressed in gastrointestinal stromal tumors.	宮本康太郎	器官制御外科
Cancer Science.	Ectopic expression of MECA-79 as a novel prognostic indicator in gastric cancer.	岡山洋和	器官制御外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Cancer Research	The association of microRNA expression with prognosis and progression in early-stage, non-small cell lung adenocarcinoma: a retrospective analysis of three cohorts.	斉藤元伸	器官制御外科
Breast Cancer	Pathological aspects of the intraductal spread of breast cancer.	Tohru Ohtake	器官制御外科
Surg Today(2012)42:205-208	Landirolol reduces coronary artery motion in an open-chest porcine model: implications for off-pump coronary artery bypass surgery	若松大樹	心臓血管外科
Clinical Rheumatology, 30(4),529-535, 2011	Methylprednisolone pulse plus mizoribine in children with Henoch-Schoenlein purpura nephritis	川崎 幸彦	小児科
Pediatric Plumonology, 46(1),18-22, 2011	Serum SP-D levels as a biomarker of lung injury in respiratory syncytial virus bronchiolitis	川崎 幸彦	小児科
Journal of Medical Virology, 83(6),1086-1092, 2011	Uteroglobulin-related protein 1 and severity of respiratory syncytial virus infection in children admitted to hospital	橋本 浩一	小児科
Clin Exp Nephrol, 15(5),749-753, 2011	Successful therapy with tonsillectomy for severe ISKDC grade VI Henoch-Schoenlein purpura nephritis and persistent nephrotic syndrome	大原信一郎	小児科
Congenital Anomalies, 51(4),187-190, 2011	Rare case of isolated levocardia with polysplenia including normally structured lung without anomaly	今村 孝	小児科
Jouranal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicaine, 24(11),1312-1316, 2011	Glucocorticoid receptor expression and cortisol level in cord blood of term infants	今村 孝	小児科
Pediatrics International, 53(2),249-252, 2011	Oral valganciclovir treatment for congenital cytomegalovirus infection	今村 孝	小児科
Pediatr Nephrol, 27(1),65-71, 2012	The role of serum myeloid-related protein 8/14 complex in Henoch-Schoenlein purpura nephritis	川崎 幸彦	小児科
Fukushima J Med Scri, 58(1), 1-8, 2012	Evaluation of arterial catheter management in very preterm neonates: peripheral artery versus umbilical artery	今村 孝	小児科
Pediatr Nephrol, 27(3),489-492, 2012	Development of common variable immunodeficiency in IgA- and IgG2- deficient patients with systemic lupus erythematosus	陶山 和秀	小児科
Retina 31:510-517, 2011.	Subfoveal choroidal thickness after treatment of Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Maruko I	眼科
Retina 31:759-765, 2011	Subretinal dot-like precipitates and yellow material in central serous chorioretinopathy.	Maruko I	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Ophthalmol 151:594-603, 2011.	Subfoveal retinal and choroidal thickness after verteporfin photodynamic therapy for polypoidal choroidal vasculopathy.	Maruko I	眼科
Am J Ophthalmol 151:940-952, 2011.	Photopigments in central serous chorioretinopathy.	Ojima A	眼科
Retina 31:1603-1608, 2011.	Subfoveal choroidal thickness in fellow eyes of patients with central serous chorioretinopathy.	Maruko I	眼科
Retina 31:1589-1597, 2011.	Intravitreal ranibizumab for polypoidal choroidal vasculopathy with recurrent or residual exudation.	Saito M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 52:8534-8541, 2011.	Autofluorescence of the cells in human subretinal fluid	Sekiryu T	眼科
Retina, 31:1921-1927, 2011.	One-year choroidal thickness results after photodynamic therapy for central serous chorioretinopathy.	Maruko I	眼科
Neurology and Urodynamics	Alpha-1-Adrenoceptor Antagonists Improve Bladder Storage Function Through Reduction of Afferent Activity in Rats With Bladder Outlet Obstruction.	矢崎順二	泌尿器科・副腎内 分泌外科
Transplant Infect Dis	The lack of antibodies against the AD2 epitope of cytomegalovirus (CMV) glycoprotein B (gB) is associated with CMV disease after renal transplantation in recipients having gH serotypes same as their donors.	石橋 啓	泌尿器科・副腎内 分泌外科
Urologia Internationalis	Effect of Long-Term Prazosin and Yohimbine Administration on c-Fos Expression in Spinal Neurons: Inhibitory Effect of Alpha-1 and Alpha-2 Adrenoceptors on Afferents from the Lower Urinary Tract.	羽賀宣博	泌尿器科・副腎内 分泌外科
International Journal of Urology	Long-term administration of prazosin improves bladder storage function: Results from a spontaneously hypertensive rat model study.	羽賀宣博	泌尿器科・副腎内 分泌外科
Exp Clin Transplant	Laparoscopic nephrectomy, ex vivo angioplasty, and renal autotransplant for a renal artery aneurysm: a case report.	小川総一郎	泌尿器科・副腎内 分泌外科
Neurology and Urodynamics	Increased bladder activity is associated with elevated oxidative stress markers and proinflammatory cytokines in rat model of atherosclerosis-induced chronic bladder ischemia.	野宮正範	泌尿器科・副腎内 分泌外科
Neurology and Urodynamics	The Effect of atherosclerosis-induced chronic bladder ischemia on bladder function in the rat.	野宮正範	泌尿器科・副腎内 分泌外科
International Journal of Urology	Suppression of bladder overactivity and oxidative stress by the phytotherapeutic agent, eviprostal, in a rat model of atherosclerosis-induced chronic bladder ischemia.	野宮正範	泌尿器科・副腎内 分泌外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Med Mol Morphol	Overexpression of fatty acid synthase in human urinary bladder cancer and combined expression of the synthase and Ki-67 as a predictor of prognosis of cancer patients.	相川 健	泌尿器科・副腎内分泌外科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	TPF療法による化学放射線交替療法が著効した頸部食道癌気管浸潤例	松見文晶	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
頭頸部痛	センチネルリンパ節生検の概要	松塚 崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
頭頸部外科	当科における頭頸部癌再建術後の過活動型せん妄と鎮静時間の関連性	菊地大介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
音声言語医学	3歳児健康診査後の精密検査診断とその後の経過	鈴木雪恵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Hypertens Res 34(5), 559-564, 2011	To what extent does aortic pulse wave velocity estimate early atherosclerosis in Kurosawa and Kusanagi-hypercholesterolemic rabbits?	林 志保	麻酔・疼痛緩和科 集中治療部
J Anesth 25(6), 927-929, 2011	Ultrasound-guided bilateral brachial plexus blockade with propofol-ketamine sedation	當重一也	麻酔・疼痛緩和科
Fukushima J Med Sci 57(2), 66-68, 2012	Two case of thoracic epidural neurolysis after local anesthetic titration in cancer patients	佐藤 薫	麻酔・疼痛緩和科
日本ペインクリニック学会誌 18(4), 392-394, 2011	ガッセル神経節の高周波熱凝固後に急性化膿性髄膜炎を発症した1例	橋本孝太郎	麻酔・疼痛緩和科
日本ペインクリニック学会誌 18(4), 395-398, 2011	開胸術後の創部痛と紹介された悪性疾患の2症例	中川雅之	麻酔・疼痛緩和科
日臨麻会誌 32(2), 232-237, 2012	気管切開孔用二腔気管支チューブで分離肺換気を行った食道癌術後左難治性気胸の1症例	飯田裕司	麻酔・疼痛緩和科 集中治療部
麻酔 61(3), 318-321, 2012	気管内カルチノイド切除中に換気困難となった1症例	根本千秋	麻酔・疼痛緩和科 集中治療部
整形研究, 第96号:29-42, 2011.6.	ケア労働の理論的検討	阿部浩之	心身医療科
Stem Cell Discovery, 2(2):58-61, 2012.	NSC-induced D-neurons are decreased in striatum of schizophrenia: Possible cause of mesolimbic dopamine hyperactivity.	Ikemoto K	心身医療科
Med Mol Morphol, 44(4):190-199, 2011.	Detailed DARPP-32 expression profiles in post-mortem brains with schizophrenia: An immunohistochemical study.	Kunij Y,	心身医療科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
睡眠医療, 5(4):449-452, 2011.	睡眠時無呼吸症候群を含む睡眠障害とうつ病	池本桂子	心身医療科
medicina, vol.48, No.8: 1367-1371, 2011.8.	精神障害と神経症状	伊藤雅之	心身医療科
笑い学研究, 18:50-58, 2011.	ヒトは「笑い」から何を思うか:「笑い」のイメージに関する検討	伊藤理絵	心身医療科
チャイルドサイエンス, vol.8:62-65, 2012.	幼児の笑いを考える-笑いの攻撃性の観点から	伊藤理絵	心身医療科
Prim Care Companion, CNS Disord, 13(2), 2011.	Four Cases of Chronic Pain That Improved Dramatically Following Low-Dose Aripiprazole Administration.	Kasahara S	心身医療科
臨床精神薬理, 14:1085-1091, 2011.	統合失調症急性期におけるプロナンセリン・バルプロ酸併用療法の経験	國井泰人	心身医療科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry, 35(8): 1901-7, 2011.	Profiles of DARPP-32 in the Insular Cortex with Schizophrenia: A Postmortem Brain Study.	Nishiura K	心身医療科
Med Mol Morphol., 44(4):190-199, 2011.	Detailed DARPP-32 Expression Profiles in Post-mortem Brains from Patients with Schizophrenia: An Immunohistochemical Study.	Kunii Y,	心身医療科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry, 37(1): 8-14, 2012.	Increased ratio of calcineur in immunoreactive neurons in the caudate nucleus of patients with schizophrenia.	Wada A,	心身医療科
臨床精神医学, 40(11): 1423-1429, 2011	原子力発電所事故後の福島県における精神科新入院の状況	和田 明	心身医療科
Prog. Neuro-Psychoph., in press.	Divergent effects of lithium and sodium valproate on brain-derived neurotrophic factor (BDNF) production in human astrocytoma cells at therapeutic concentrations.	Nishino S	心身医療科
老年精神医学雑誌, 23(2):173-177, 2012.	東日本大震災と老年精神医学 福島県の被災状況とその対応	小林直人	心身医療科
Neuroreport, 22:337-41, 2011	Temporal integration of deviant sound in automatic detection reflected by mismatch negativity.	Shiga T	心身医療科
Anal Bioanal Chem., 400:1933-1943, 2011.	Abnormal phospholipids distribution in the prefrontal cortex from a patient with schizophrenia revealed by matrix-assisted laser desorption/ionization imaging mass spectrometry.	Matsumoto J	心身医療科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry., 35: 1139-1143, 2011.	Altered DARPP-32 expression in the superior temporal gyrus in schizophrenia.	Kunii Y	心身医療科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychiatry Res., 189:288-291, 2011.	Event-related potentials in patients with adult attention-deficit/hyperactivity disorder versus schizophrenia.	Itagaki S	心身医療科
Journal of Medical Case Reports., 5:432-436, 2011.	Thyroid-stimulating hormone elevation misdiagnosed as subclinical hypothyroidism following non-convulsive status epilepticus: a case report.	Wada A	心身医療科
Medicina, 増刊号48:583-586, 2011	統合失調症	丹羽真一	心身医療科
Depression Strategy, 11:7-10, 2011.	再発予防の観点からみた抗うつ薬の使い方	丹羽真一	心身医療科
精神療法, 37:744-745, 2011.	東日本大震災と福島第一原発事故を体験して	丹羽真一	心身医療科
臨床精神医学, 40:1411-1415, 2011.	特集にあたって フクシマの教訓-放射能被ばく事故に学ぶこころのケア	丹羽真一	心身医療科
臨床精神医学, 40:1423-1429, 2011.	フクシマの教訓-放射能被ばく事故に学ぶこころのケア 原子力発電所事故後の福島県における精神科新入院の状況	和田 明	心身医療科
YAKUGAKU ZASSHI, 132:369-379, 2012.	認知行動療法と動機づけ面接法を用いた禁煙指導実習の構築	齋藤百枝美	心身医療科
Journal of Clinical Psychopharmacology, 32:106-109, 2012.	Effects of Aripiprazole and the Taq1A Polymorphism in the Dopamine D2 Receptor Gene on the Clinical Response and Plasma Monoamine Metabolites Level During the Acute Phase of Schizophrenia.	Miura I	心身医療科
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry, 37:8-14, 2012.	Increased ratio of calcineurin immunoreactive neurons in the caudate nucleus of patients with schizophrenia.	Wada A	心身医療科
Acta Histochem Cytochem., 2010 Aug 27;43(4):107-14, Epub 2010 Aug 3.	VAMP2 marks quiescent satellite cells and myotubes, but not activated myoblasts.	Tajika Y	心身医療科
J Electron Microsc (Tokyo). 2010;59(6):495-501, Epub 2010 Aug 4.	Heavy ion irradiation induces autophagy in irradiated C2C12 myoblasts and their bystander cells.	Hino M	心身医療科
Cell Struct Funct., 2009; 34(1):11-5, Epub 2009 Feb 13.	Insufficient membrane fusion in dysferlin-deficient muscle fibers after heavy-ion irradiation.	Hino M	心身医療科
Cell Struct Funct., 2007; 32(1):51-6, Epub 2007 Apr 26.	Heavy ion microbeam irradiation induces ultrastructural changes in isolated single fibers of skeletal muscle.	Hino M	心身医療科
Surgery Frontier, 353-356, 2011.	大震災および福島第一原発事故後のメンタルケア 報告-福島県沿岸地域における精神医療の現状と今後の課題-	矢部博興	心身医療科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychiatry Clin Neurosci, in press.	Effective surgical intervention for schizophrenia-like symptoms and low ERPs caused by arachnoid cyst.	Shiga T	心身医療科
J Med Case Reports, 5: 432, 2011.	Thyroid-stimulating hormone elevation misdiagnosed as subclinical hypothyroidism following non-convulsive status epilepticus: a case report.	Wada A,	心身医療科
Neuroreport, 22(7):337-41, 2011.	Temporal integration of deviant sound in automatic detection reflected by mismatch negativity.	Shiga T	心身医療科
臨床精神医学, 40(11): 1423-1429, 2011.	特集:フクシマの教訓-放射能被ばく事故に学ぶこころのケア:原子力発電所事故後の福島県における精神科新入院の状況	和田 明	心身医療科
精神療法, 183:199-203, 2011.	福島大学における自閉症スペクトラム障害を持つ学生の学生相談の現状と課題	山本佳子	心身医療科
J Clin Dermatol 2011	Psoriatic diseases with systemic involvement.	山本俊幸	皮膚科
J Clin Dermatol 2011	Pathophysiology of synovium of psoriatic arthropathy.	山本俊幸	皮膚科
Eur J Dermatol 2011; 21: 660-666.	Psoriatic arthritis: From a dermatological perspective.	山本俊幸	皮膚科
Pediatr Dermatol 2011; 28: 738-739.	Childhood tinea incognito caused by Trichophyton mentagrophytes var. interdigitale mimicking pustular psoriasis.	川上佳夫	皮膚科
Dermatol Online J 2011; 17 (6): 13	Necrobiotic xanthogranuloma of extremities in an elderly patient successfully treated with low-dose prednisolone.	川上佳夫	皮膚科
Rheumatol Int 2011; 31: 1117-1118.	Eruptive molluscum contagiosums in a patient with rheumatoid arthritis and lung cancer.	若槻妙子	皮膚科
J Dermatol 2011; 38: 1113-1115.	Hemophagocytic syndrome occurred in a patient with subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma without overt skin lesion: successful treatment with steroid pulse therapy.	三浦貴子	皮膚科
Dermatol Online J 2011; 17 (6)	Topical tacrolimus therapy for plasmacytosis	花見由華	皮膚科
Eur J Dermatol 2011; 21: 595-596.	A case of juvenile-onset keratosis lichenoides chronica treated successfully with topical tacrolimus: a safety and favourable outcome.	尾山徳孝	皮膚科
Adv Otorhinolaryngol 2011; 72: 89-92.	Triggering role of focal infection in the induction of extra-palmoplantar lesions and pustulotic arthro-osteitis associated with palmoplantar pustulosis.	山本俊幸	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Self/Nonself 2011; 2: 4-10	Autoimmune mechanisms of scleroderma and a role of oxidative stress.	山本俊幸	皮膚科
Int J Rheum 2011; 2011: 270938	Vascular changes in bleomycin-induced scleroderma.	山本俊幸	皮膚科
AMYLOIDOSIS. InTech pp 91-104, 2011	Amyloidosis in the skin.	山本俊幸	皮膚科
Dermatol Online J 2011; 17 (12): 13	Two cases of metastases to the scalp bone mimicking epidermoid cyst.	加藤保信	皮膚科
日本プライマリ・ケア連合学会誌 第34巻3号	乳幼児の定期予防接種完了率と未完了のリスク要因	川井 巧	地域・家庭医療部
日本門脈圧亢進症学会雑誌17:43-51、2011	食道静脈瘤に対する内視鏡治療 (EIS/EVL)	小原勝敏	内視鏡診療部
Thorax	Virtual bronchoscopic navigation combined with endobronchial ultrasound to diagnose small peripheral pulmonary lesions: a randomised trial.	石田 卓	臨床腫瘍センター
日臨細誌	集検喀痰細胞診で発見された喉頭癌と早期中心型肺癌の細胞像の比較	石田 卓	臨床腫瘍センター
褐色細胞腫診療指針 2012	内科的治療	橋本重厚	医療安全管理部/ 腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科
医療の質・安全学会誌	安全な麻薬取り扱いの取り組み 麻薬シール表記の使用経験	栗原由美	医療安全管理部
医療の質・安全学会誌	震災と医療安全 長期低線量被曝とリスクコミュニケーション	橋本重厚	医療安全管理部

計 11

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

合計 173

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 棟方 充
管理担当者氏名	医療情報部長 向本 時夫

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部等	患者ごと又は記録ごとに分類し管理・保管している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院経営課	記録ごとに分類し管理・保管している。	
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
	高度の医療の研修の実績	病院経営課		
	閲覧実績	病院経営課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携・相談室		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課		
	第規一則号第一に掲げる十の第一項の各号及び第九條の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	記録ごとに分類し管理・保管している。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部		
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部		
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部		
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療連携・相談室		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医薬品安全使用部会
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全使用部会
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全使用部会
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全使用部会
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター		

記録ごとに分類し管理・保管している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 棟方 充
閲覧担当者氏名	病院経営課長 猪俣 太一郎
閲覧の求めに応じる場所	病院棟 3階 病院経営課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.4 %	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		9,212 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,195 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,694 人
	D: 初診の患者の数		18,935 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 安全管理に関する基本的考え方2 医療事故防止対策委員会、その他の組織に関する基本的事項3 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針4 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針6 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針7 患者からの相談への対応に関する基本方針8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 委員会の管理及び運営規定の策定・改正に関する事2 重要な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者へ報告する3 重大な問題が発生した場合に、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る4 委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<p>医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について、従業者へ周知徹底を行うことで、個々の従業者の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上等を図るもの。</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 当院で発生した事故を委員会への報告する2 あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析する。これにより当院における問題点を把握して、当院の組織としての改善策の企画立案及びその実施状況を評価し、当院においてこれらの情報を共有する3 重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (4) 名活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関する事2 事故等にかんする診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行う3 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行う。4 事故等の原因究明が適切に実施されて居ることを確認するとともに、必要な指導を行う	

- 5 医療安全に係る連絡調整に関すること
- 6 その他医療安全対策の推進に関すること

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
--------------------------------------	-----

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 院内感染対策に関する基本的な考え方2 院内感染対策のための委員会、その他の組織に関する基本的事項3 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5 院内感染発生時の対応に関する基本方針6 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針7 その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 委員会の管理及び運営規定の策定・改正に関すること2 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者へ報告する3 院内感染が発生した場合は、速やかに発生原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る4 委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 5 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容： 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策について、従業者へ周知徹底を行うことで、個々の従業者の院内感染に対する意識を高め、業務を遂行する上での技能やチームの一員としての意識の向上等を図るもの。	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 院内のみでは対応が困難な事態が発生した場合、又は発生したことが疑われる場合に、地域の専門家等に相談が行われる体制の確保2 院内感染対策マニュアルの定期的な見直し	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容： 1 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項 2 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項 3 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する事項	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 1 医薬品の採用・購入に関する事項 2 医薬品の管理に関する事項 3 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 5 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 6 他施設との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品に係る情報のうち、必要なものは当該情報に係る医薬品を取り扱う従業者に迅速かつ確実に周知徹底を図る (ex. DIニュース、医療安全ニュース、院内報)	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年104回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 医療機器の有効性・安全性に関する事項2 医療機器の使用方法に関する事項3 医療機器の保守点検に関する事項4 医療機器の不具合等発生した場合の対応に関する事項5 医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (○・無)・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">毎日点検1 患者使用後点検1 回/年・業者による点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 添付文書等の管理2 医療機器に係る安全性情報等を当該医療機器に携わる者に適切に提供する3 病院管理者への報告	